

研究成果(中間)報告書 (1/) ☆必要ページ数は各自調整のこと

※(助成期間中は、毎年度2月初までに提出すること)

当報告書は次年度の研究助成奨学金の継続を判断する重要な報告書です。各項目とも要点をまとめ漏れなく記述してください。当財団選考委員や役員に分かり易く説明してください。片面印刷でプリントアウトすること。

研究助成奨学金を受給した該当年度「12月末時点」の情報を記載してください。

学生氏名	
大学院名	
研究科・専攻名・学年	
研究テーマ(研究課題)	
研究助成奨学金受給開始年度	
指導教員名と職位	

1. 研究実績

申請した研究課題の「(4月から)12月末まで」の研究実績を記述してください。

--

研究成果(中間)報告書 (2/)

1. 研究実績(続き)

2. 活動実績と次年度活動計画

当年度 4 月から 12 月末までの研究が計画通り推進出来たのかなど記述してください。また次年度も奨学金を受給することを前提に、当年度 1 月から 3 月および次年度の研究計画を記述してください。

研究成果(中間)報告書 (3/)

3. 奨学金使途実績と次年度費用計画

1年間(50万円)の奨学金使途実績(4月から12月末までの実績)を具体的に記述してください。また次年度も奨学金を受給することを前提に、当年度1月から3月および次年度の使途計画を記述してください。

4. その他(特記事項、報告事項など必要に応じ記述してください)

※必要があれば別途、資料の添付も可